

中村議長 次に、松井議員。

松井議員（登壇） 9月定例会に当たり、数点を質問いたします。

市長は平成15年に就任され、7カ月先には市長選挙がありますが、議場における私たち議員はよく市長のことを知っていますが、15万市民の大半は秋の農作業の前でテレビを見て、だれを市長さんに選ぼうかなというようなことで市長選挙の選択肢の1つにされるとお思いますので、課長なり課長補佐が書いた答弁書の棒読みはやめて、市長自身で答弁してください。

まず、市長は何のために市長になられたのか、私には今も目的が見えてきません。何のために市長になられたのか、まず答弁を求めます。

2番目は、本員は日吉津村ジャスコの増床計画を県が承認許可したときに、イズミ進出に反対され市長は判を押されませんでしたので、市政の中でも大きな失政ではないかと質問しましたが、そうは思わないとの答弁でありましたが、市長は今も同じ気持ちですか伺います。土地規制の見直しなくしてあすの米子市の発展はないと思います。例えば国費を投入し、構造改善した農振地域を除く国道の両側50メートルでも市街化に入れたらどうでしょうか。合併と新市の一体化について、淀江町民がまず合併してよかったと思うようなまちづくり、淀江と合併後3年間で約12億3,000万円のお金を投入していますが、淀江町民は決して喜んでいません。なぜか、私は淀江町のとくにできなかった希望のあったいろいろな事業の中から、集中と選択でそれを行い、合併してよかったな、できてというような市政をやっていく必要があると思います。特に米子市も財政が悪いので、何と何をしてということではなく、地域審議会もありますのでそれをどんどん活用して新市の一体化を図る必要があると思いますが、市長どうでしょうか。

最後に、米子市の将来像が見えないが、米子市をどのようにしようと考

えていらっしゃるのか、前段でも尋ねましたが、再度伺います。先月の、市長は、新聞紙上で次期市長選にも生活充実都市の、それが半ばであるから出るというようなことですが、そのような抽象的なことでなくして、例えば財政再建とか、土地規制の見直しとかもっと市民にわかりやすい、大体市長さんのようなレベルの、頭のよい市民は15万市民のうちにそう多くおりませんので、私ぐらいなもんが一番よけおりますので、特によくわかるように、市民に、この壇上から説明をお願いしたいと思えます。最後になりましたが、質問戦の時間制限があるので、ここに座っておる中村議長が7月10日付の新日本海新聞の新議長に聞くで、質問戦の時間をのりくらりと逃げて、次の議会まで知らん顔という姿勢が見られると言っていたらっしゃいましたことが新聞に出ておりましたので、私が引用したまでであります。

最後に、駅のバリアフリー化でございますが、遅々として進行しない。法律では平成22年までに完成と決められているが、総事業費が幾らかかって、国が幾ら出し、JRが幾ら、県が幾ら、米子市の負担分が幾らか伺います。

以上、簡単でございますが壇上からこれで質問は終わり、答弁を受けました後に再質問いたします。

中村議長 野坂市長。

野坂市長（登壇） 松井議員の御質問にお答えいたします。

まず、私の市政への取り組みについてでございますが、何のために市長になったかということでございますけども、金曜日にも一部お答え申し上げましたけれども、米子市の発展等、市民生活の向上に全力を尽くしたいと、まい進したいという覚悟であります。

次に、土地規制の見直しについてでございますが、イズミ進出につきま

しては、この出店計画は市街化を抑制する市街化調整区域に大規模商業施設を立地するものでございまして、今まで進めてまいりました本市の都市計画に大きな変化をもたらすことと、計画的な市街化を図る上で支障にならないことという都市計画法の規定に適合していないということで、この計画は認められないと判断したところでございます。今でも同じ気持ちであるかということでございますけども、この判断に誤りはなかったと考えておりまして、今でも気持ちに変わりはありません。

次に、農振地区を除いた国道沿いの両側50メートルを市街化区域に入れたらとのお尋ねでございますが、線引き制度につきましては、無秩序な市街化を防止し、良好な都市形成を行うために優先的かつ計画的に市街化すべき区域と当面市街化を抑制すべき区域に分け、農業施策等との調整を図りながら市街化を図るものでございます。また都市の健全な発展を図るためには、まとまりのある良好な市街地を形成することが基本でございまして、国道沿線を帯状に市街化区域とした場合、道路、下水道等の公共施設の整備が非効率になるとともに、周辺農地等の宅地化を誘発するなど計画的な市街化が図れないと考えられますことから、市街化区域に編入することは考えておりません。

次に、新市の一体化についてでございますが、各種ハード面の整備事業やソフト事業を実施してきているところでございますが、大切なことは新市の市民が合併前のそれぞれの地域に存在する個性や特徴を認め合い、まちづくりに活かしていくことで市民の融和を推進していくことだと考えております。今後とも米子市淀江地域審議会の御意見も聞きながら各種事業や施策を推進し、合併してよかったとだけいただけるようにしてまいりたいと考えております。米子市の将来ビジョンというか将来像についてでございますが、かねてから申し上げておりますように、生活充実都市・米

子を将来像として掲げておりまして、少子高齢化対策、ゆとりある心豊かさの推進、経済の活性化、また行財政改革に取り組んでできているところでございます。先ほど議員からもわかりにくいという御指摘がございましたけれども、今後どういう形で市民の皆さんによりわかっていただけるかという工夫はしていかなければならないと思っております。

次に、米子駅のバリアフリー化の事業費についてでございますが、現在、事業主体でありますJR西日本が国との事前協議を行いながら設計の精査をされていると承知しております。事業費等が明らかになった時点で議会にも御説明したいと考えております。

中村議長 松井議員。

松井議員 答弁いただきましてありがとうございます。順次再質問いたします。

特に今の答弁の中で、市長は淀江町との一体化でいろいろ淀江の町民のことを聞きながらというお話がありましたが、淀江と米子市には合併期るときに審議会というものをつくっておったと思いますが、合併後、何回審議会を開催されましたか。

中村議長 廣戸淀江支所長。

廣戸淀江支所長 お答えいたします。合併後、現在までに9回の審議会を開いております。

中村議長 松井議員。

松井議員 9回ということは年3回ぐらいですが、5日の質問戦でも聞いておりましたように、きょうは、めったに淀江の方から来ていただいて、質問戦中黙ってそこへ座っていらっしゃるのは大変と思いますので、廣戸支所長にお伺いしますが、特に初日の日にも幼稚園の悪くなったところをどうするかとか、宇田川の体育館をどうするかとか、特に淀江の方から淀

江地区子育て支援センター開設について陳情が上がっておりまして、このようなことも継続審査になっておりますので、早急に開いて、またこの議会が済めば平成21年度の予算編成にも入られますので、淀江として、集中と選択でこれとこれは米子市どげでもやっでごせやいというような構えでやっていかな、何だだ合併したって、何だいなあへんがな、かかるもんばかり高んなってというようなことのないように、特に配慮して開催してください。いいですか。

中村議長 廣戸淀江支所長。

廣戸淀江支所長 実は地域審議会、昨年の後半だったと思いますけども、実は定例的に年4回開催するというふうにいたしました。これは議会の審議事項とバッティングする部分があるということもありまして、どちらが優先ということではございませんで、同じような時期を見計らいながら開催したいというふうに考えております。

中村議長 松井議員。

松井議員 都市計画の線引きのことで、見直す必要はないと、今、市長の方から答弁がございましたが、以前にも淀江町との合併のときにマスタープランで都市計画の線引きの見直しの質問があり、現在までどのように経緯し、いつどのようにされる予定ですか。

中村議長 羽柴建設部長。

羽柴建設部長 鳥取県は、平成19年度に実施した都市計画基本調査に基づきまして、本年度、米子境港及び淀江市都市計画マスタープランの見直し作業を行っています。その内容を踏まえまして、米子市の都市計画マスタープランについて見直しをする必要があるというふうに考えております。

中村議長 松井議員。

松井議員 私は市長にお願いしておる。それで市長が細かいことがわからないから建設部長に答弁させますというんだったら十分だが、そういう姿勢はだめだ。議長として今後注意してください。それから、ジャスコが今休んでおりまして、米子市内でも総体的に物はよく売れておると思いますが、10月の最後の日曜日、たしか10月26日になるんじゃないかと思いますが、オープンするということで、5日の日にも米子駅前サティが大打撃を受けるのではないかというような発言がありましたが、私も大変心配しておりまして、駅前開発の理事は米子市に迷惑をかけないように、責任を十分にとってこのことを処理していただくように考えておりますが、市長、覚悟はできてますか、あなたがトップですが。

中村議長 野坂市長。

野坂市長 いずれにしましても、米子駅前開発はきちんとした財政基盤の上で運営できるようにしていかなければならないと思っております。

中村議長 松井議員。

松井議員 私は、前回ジャスコのときに質問しましたときに、ボクシングでいえばボディーをたたかれておるようなものだと言っておりましたが、山陰第一の3万6,000平米の全容を見たときに、例えば戦艦大和と中心市街地は漁船のようなものと驚くようです。これからは倉吉以西の人々や岡山北房の人が日野橋を渡って今までのように来られず、私は商店街も壊滅的な打撃を受けるのではないかと考えておりますが、この対策は十分練ってありますな。なお、ここでどういうことを考えていることは企業秘密にもなるし、相手に知られることですから言う必要はないですが、十分練ってありますな。私は、商店街が時間とともに壊滅的な打撃を受けると考えております。以上。市長、答弁をお願いします。

中村議長 野坂市長。

野坂市長 商店街の対策はいろいろ今までも考えてきたわけでございますけれども、それと同時に、今、中心市街地活性化基本計画の策定作業を進めておりまして、そういう中で中心市街地の活性化に努めていきたいと思っております。

中村議長 松井議員。

松井議員 私が線引きのことを何回も言いますのは、立地条件がよくなければ企業はやってまいりません。米子市内の倒産件数も、負債が1,000万円以上で、データバンクの資料によりますと、平成15年から本日までで61件の会社が倒産しておりますが、なお負債のない廃業をした業者は出ておりませんので、そのような立地条件のよいところには企業も出てきますので、特に調整区域なんかは農家分家や沿道サービスとか農業関係のことはできますけど、事務所とかなど会社関係が出ることができませんので、じゃあ面積的に市街化区域が十分あるからそこへ出やいと言いましても、前段でも申しましたように、立地条件のよいところがなければ企業は出ません。やはり企業にどんどん来てもらって、お金が入ってくると同時に市街化区域を広げれば、現在の調整区域、農振にかかっております固定資産税がすごく浮きます。特に先般、中期計画のお話を聞きましたときに、平成22年、24年には固定資産税の家屋の評価がえがあるので、これを見たときにも2億円ぐらいざっと減収になりますから、市税が。亀井総務部長はそのときに、交付金で賄えばえがんというようなことを言っています。そのような生ぬるいね、人の懐を財布を当てにするだなく、みずからはみずからで守っていくような市政をやっていかなければだめだと思っておりますので、やはり企業が来て、固定資産税、農家の者もしてくれしてくれといった声が非常に高いので、やはり土地規制の見直しをして、行政が一方的に線を引きだなくして、喜んで、払いたくても払えないという

ような人から金を取るでなく、喜んでお金を払うところから取って、自主財源の充実をして、会社も来て、雇用の場を広げていかなければいけないからいつも言っておるのです。それと同時に財政が悪い悪いという中でも、そく聞すればこの議場の中におられるだれか知りませんが、税とか料の未納の人がおるといことでございますので、私はこのようなことは借金してでも返して、議員としてだったら自分の襟を正してから物を言わないとだめだと思っておりますので、お互いそのようなことがないように努力いたしましょう。そのようなことが風の便りで耳に入ってきますので、私も議員の1人として大変恥ずかしく思いますので、そのようなことがないように、みんなが努力するようにお願いしたいと思います。もし、料、税とそく聞しておるわけでございますが、何件ぐらい大体、ないならない、あるならある、答弁を願います。市長がわからなかったら担当部長でも結構です。

中村議長 足立市民人権部長。

足立市民人権部長 特別職を含む市の職員に市税を滞納している者がいるかというお尋ねでございますが、納付忘れ、あるいは一時的な資金調達が困難というようなことでおくれるケースはございますが、個別の督促であるとか個別の指導によりまして、現時点では滞納者はいないというぐあいに把握しております。

中村議長 松井議員。

松井議員 料についてはいかがですか。

中村議長 足立市民人権部長。

足立市民人権部長 私のところで言いますと国民保険ということになりますけども、国民保険の場合ですと、市の職員ということになれば共済ということが主でございますので、私の聞いている範囲では滞納者はないと

いうぐあい聞いております。

中村議長 松井議員。

松井議員 何のためこの質問をしとるかというようなことを言ったら、やはり財政の健全化ということになれば、料とか何かをきちんと集めて、それで自主財源で運営していくのが筋道でございますので、24年に中期見通しでは市税が下がっていくのに、そのような料とかの未納者があつたらいけないからやっておりますが、足立部長ばかりだなしに、ほかにもいろいろ料を抱えておる部長がおると思うが、だれもありませんか。どうですか。あつたらあると言いなさい。

中村議長 ほかの部長で、何かそういった質問に対して答弁があれば。

田中下水道事業監。

田中下水道事業監 下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の滞納者についてリストを作成し、日々督促や分納による納付指導等を行っている・・・

(「聞こえない。」と松井議員)

(「もうちょっと大きい声で。」と中村議長)

長期滞納者については、勤務先や所得、資産などの調査も行っているところですが、その中には市職員等は入っていないものと認識しております。

中村議長 角副市長、いいですか。

角副市長。

角副市長 本市の特別職を含む職員の滞納状況の有無というお尋ねでございます。税また下水道等の使用料については各部長がお答えしたとおりでございますが、基本的には税金を初めとする市税等の公金・債権の滞納の実態につきましては、いわゆる公表の扱いについて、全国的には小田原市等で氏名公表の条例設定ということで条例制定をしておる自治体もなく

はございませんが、これの取り扱いにつきましては総務省も若干の疑義を持っておるといことでございまして、氏名公表はもちろんのことですが、推測、推察されるというような情報につきましては、税務行政の守秘義務の観点から差し控えたいといことでございしますが、大体の実態につきましては各部長がお答え申し上げたとおりでございます。

中村議長 松井議員。

松井議員 最後になりますけど、一番心配するのは、ジャスコが10月からオープンすれば駅前サティがやられてしまって、何と駅前開発の理事さんは、市長さんが私は理事長だと思っておりますが、何人どういう理事がおるか知らんが、米子市に絶対に迷惑をかけないで責任を十分にとってもらいたいということと、中心市街地が壊滅的な打撃を受けないように、植田企画部長、よく考えて、中心市街地のことは。答えはしゃべらなくてもいいから。相手に、こういう手法でやりますからということが伝わると、テレビの前ですからいけませんので言う必要はないから、よく考えて、その2点を特に要望して終わります。